



宝塚市立売布小学校 学校長 藤山 昌生

あいさつ
姿勢

新学年を迎えて1カ月が過ぎました。「おはようございます。」と、校門や教室での朝のあいさつから学校がスタートします。そして、廊下や教室でも、「おはようございます。」「こんにちは。」と子どもたちとあいさつを交わします。その時の子どもたちの表情を見ていると、少し照れがあるかもしれませんが、何だか柔らかかたほっこりとしみます。このように、あいさつは人を幸せにすることができ、温かい気持ちになることができると思います。あいさつした人も、あいさつされた人も…。あいさつは、「あなたがここにいてくれてうれしいよ。」「あなたと出会えてうれしいよ。」という、お互いの存在を認め合うための、最適なコミュニケーションツールなのかもしれません。お家でも、いつもあなたのことを思っているよという気持ちで、「おはよう」「いってらっしゃい」と子どもたちを送り出してあげてください。これからも学校だけでなく、家庭の中や地域においても、その場面に応じてあいさつができることを大切にしていきたいと思います。

一方、授業の様子に目を向けてみますと、それぞれのクラスで授業に向かう「姿勢」をしっかり作れるように頑張っています。まさに腰骨をしっかり立てたよい姿勢、そして授業の中で大切なことを獲得しようとする子どもたちの姿、それが授業に向かう姿勢です。どの授業においても話し合い活動を大切にしたり、丁寧なノートづくりを心掛けたりしています。そして、その1時間で何を学んだか、何が分かったのかをしっかりと振り返り、次の授業へとつなげていきます。

先週、わたしたち教員は、大学の教授をお招きし国語科の研修会を開催し、教科書の2つの教材を具体例に、授業の中で大切にすべきことを研修していきました。国語科の授業の中で子どもたちにつけさせたい力というのはいくつもありますが、子どもたちが授業や生活の中で、自分のことばで表現できる「ことばの力」をつけさせたいと思っています。自分のことばで表現するためには、語彙を増やして使っていかなければなりません。2年生から6年生の国語科の教科書には、言葉の宝箱（ことばのたからばこ）という素敵なページがありますので、どんどん活用していきたいと思っています。

<1年生を迎える会の様子>

